



津地方法務局上野支局 完成

本施設は、来庁者に対して「明るく、解放感のある窓口空間」「サイン案内機能の充実」「バリアフリー対策」「駐車場の確保」また、職員に対しては「事務室の狭隘解消」「休養室の充実」「付帯設備や整備機器のメンテナンスのしやすさ」に配慮して整備しました。

構造：軽量鉄骨造（プレハブ構造）2階建て

規模：建築面積800.00㎡、延床面積1,578.42㎡

（営繕部 建築課）

◆◆◆◆ 目 次 ◆◆◆◆

- | | |
|-----------------------------------|---------|
| ・ 巻頭言「営繕事務所は業務のコンビニ」 | P 2 |
| ・ ～庁舎環境対策～ | P 3～P 4 |
| ・ 平成19年度中部地方整備局営繕技術コンクール推薦事業検討会開催 | P 5 |
| ・ 愛知県の公共建築について（豊田東高校） | P 6 |
| ・ 静岡市の公共建築について（養護老人ホーム松風荘） | P 7 |
| ・ 浜松地方合同庁舎建設現場で各種イベントを開催 | P 8 |
| ・ 第4回 中部の公共建築写真コンテスト 作品募集 | P 9 |

巻 頭 言

「営繕事務所は業務のコンビニ」



静岡営繕事務所長 長谷川 正彦

あけましておめでとうございます。謹んで新年のお喜びを申し上げます。

平成も20年目になり、今年は干支でいう「子年」十二支の始まりの年でもあります。当事務所では、2月に「会計検査」が予定されており今年もコマネズミのようにぐるぐる走り回る、昨年以上に忙しい年になりそうです。

「静岡営繕事務所」は、静岡県内が管轄範囲で所員12名の小さな事務所ではありますが、行政サービスが滞らぬよう、国の施設を効率的に快適に利用していただくために、施設整備を行う最前線基地的な存在になっていると自負しています。その業務は多岐にわたり、ながら「業務のコンビニ」という表現がピッタリします。

土地探しの企画段階から予算要求、建設、そして完成後の保全指導まで営繕事業に関するあらゆる業務に「営繕事務所」が関わっています。設計や監理の一部を外部委託をしているもののマネージメントは行っており、大きな地域構想から小さな施設の漏水相談までありとあらゆる要求に応えられるよう、日々「営繕業務」に励んでいます。

保全指導の活動では、国の施設にお伺いしてその施設がきれいに長く、地球温暖化にも優しい使い方をしていただけるよう効率的で効果的な施設管理やメンテナンスの方法をレクチャーしたり、「ご用聞き」のように施設管理者の方々との信頼関係を築くことにより、気軽に相談していただける環境づくりに努めています。そのほかにも、行政相談窓口を開設しており、積算の相談からメンテナンスの契約方法、予算要求の資料作りや設計プロポーザルの手法相談まで、その内容は多岐に渡っています。

その様な中で、近頃では業務の質が昔から比べると大きく様変わりしてきています。まず、最近で一番のトレンドは総合評価落札方式による一般競争入札です。公告文の作成から始まり入札契約に至るまでに3ヶ月はかかってしまい不調・不落となった場合は、もう一度はじめからの繰り返し作業になってしまいます。手間はかかりますが、透明性を担保でき、かつ技術力が確保される入札方式です。

続いては広報活動ですが、近年はアカウンタビリティが求められる時代となっており、いかに国民の方々に私たちが行っている営繕事業を理解していただくかが大切な業務と位置づけられております。浜松シビックコア地区に建設中で今年の秋に完成予定の浜松地方合同庁舎建築工事の現場においてもホームページで現場見学会の随時受付を行っており、開催した回数は学校や近隣にお住まいの方々見学会や入居関係者のミニ見学会も含めると30回以上になります。昨年11月には「公共建築の日」の記念イベントとして、3日間に市内4校210名の小学生を招いて実施した現場でのリサイクル見学会では、子供向けのリサイクルパンフレットをつくったり庁舎の折り紙による組み立て模型などを用意したり、現場を案内をしたりと所員みんなで行いました。

また、県や市の方々と国土交通省中央への情報パイプ役としての役割も、各種連絡会議や講習会開催、研修会での出前講座や委員会の委員への要請等にお答えすることで果たしています。

そんなこんなで、まちの中の「コンビニ」のように気軽に便利にサービスを提供できる「営繕事務所」でありたいと思っています。



◆CO2 排出量の現状

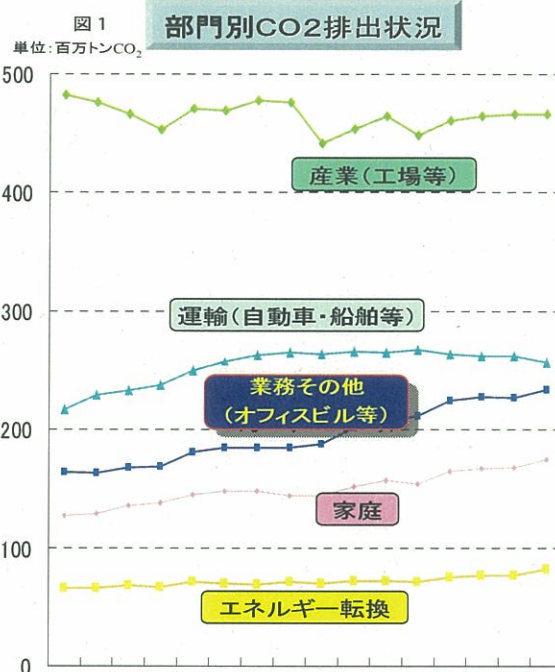
京都議定書・・・平成9年採択、平成17年2月発効。

その内容をご存じのことと思いますが、日本については、2012年までに、6%のCO2排出量の削減(1990年比)が謳^{うた}われています。

右のグラフは、1990年から2005年までの各部門別のCO2排出量の推移を示しています。

これによりますと「産業部門、運輸部門」は昨今の好景気に比して非常に健闘していることが伺えます。我々に関係するオフィスビル等の「業務その他部門」は、かなりの増加となっています。(青線で示す。)

こういった状況の中、政府は実行計画として政府関係機関については、CO2排出量8%の削減を目標として掲げられています。これらを受け、目に見える対策である太陽光発電や建物緑化等、庁舎のグリーン化が急ピッチで進められていることはご承知の通りです。



出典：環境省

◆運用改善手法

今回は、こういったハード面のグリーン化技術では無く、ソフト面すなわち運用的な部分でCO2排出量の削減につながる手法についてご紹介します。

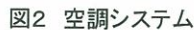
既に実践されている(と思われる)クールビズ、ウォームビズ、昼休み消灯、パソコンのこまめなON・OFF等々、身近なところでの手法についてはもう限界まで来ている・・・にも関わらず、更なる削減を求められているところではないでしょうか？

そこで、次のステップとして空調システムの運用方法等の改善による省エネルギー手法があります。通常は、竣工時の空調システムの各種設定のまま運用されていることが多いと思います。しかしその設定は設計段階で想定された条件のもので、実際の庁舎管理・運営状況などの条件と照らし合わせた場合必ずしも最適な設定となっていないことがあります。そういったことを検証することにより、新たな省エネルギー手法を見つけようというものです。次頁の表1に省エネルギー手法の代表的な項目について示しますが、これらがすべての庁舎において適用できるかというとそうではありません。前段にも述べていますが、その庁舎の空調運転状況、管理・運営状況、空調負荷特性、空調方式、室内環境等々いろいろな面からの検証・検討の結果その庁舎における省エネルギー手法が導き出されます。

今回は、我々が入居している名古屋第2合同庁舎の事例を紹介させていただきます。



やはりかなり苦勞して絞り出した項目でありますので、めざましい効果とはなりませんでした。今



平成19年度中部地方整備局 営繕技術コンクール推薦事業検討会開催

営繕部 建築課・設備課

昨年度まで実施していた地方整備局等営繕フォーラムがPRのためのイベントなのか、推薦事業を評価する場所なのか、位置づけが曖昧になりました。

そのため今年度から推薦事業を検証する位置づけで「地方整備局等推薦事業等の検討会」に名称変更になりました。

中部地方整備局営繕部では、検討会の主旨を踏まえ、平成19年11月14日に本省・各地方整備局職員24名の参加で三島労働総合庁舎の現地調査、15日に名古屋合同庁舎第2号館において、当営繕部職員及び本省・各地方整備局83名の参加で「平成19年度中部地方整備局営繕技術コンクール推薦事業検討会」（以下中部事業検討会）を開催しました。

中部事業検討会では各地方整備局が過去に実施した公共職業安定所等の設計に配慮したことについて発表していただきました。

また、三島労働総合庁舎を営繕技術コンクールの審査の視点による評価について下記の内容を検証しました。

①目標及び達成手段の妥当性、達成度

- ・官庁街区の敷地利用計画に配慮した、効率的な土地利用の実現
- ・ニーズの変化に対応したフレキシブルな庁舎整備
- ・誰もが快適で安全に利用できる施設の整備
- ・環境負荷低減対策

②官庁施設の主要課題の対応

- ・地域社会への寄与、環境への配慮、安全確保、利用者の利便性向上、長期的耐用性の確保
- コスト縮減、バリアフリー対策

③官庁施設の保全のための支援・指導

- ・建物引渡時及び運用段階の保全指導・支援は適切であったか



三島労働総合庁舎

R C造3階建 延べ面積2,241㎡



平成19年度 中部地方整備局

営繕技術コンクール推薦事業検討会風景

愛知県の公共建築について（豊田東高校）

1. はじめに

豊田東高等学校は、大正13年（1924年）創立の^{ころも}挙母高等女学校以来、約80年の歴史を有する県下唯一の県立普通科女子高校でしたが、国際コミュニケーション系列や情報・ビジネス系列などの教育課程に対応した総合学科設置の男女共学校として、平成19年4月に移転開校しました。

2. 建設工事の概要

建設地	豊田市御立町地内（敷地面積 41,781 m ² ）
構造規模	管理教室棟（RC造地上3F）、普通教室棟（RC造地上2F）、体育館棟RC造一部鉄骨造地上2F、その他付帯施設
	延床面積 計 11,898.56 m ²
工期	平成17年10月～平成19年2月

3. 計画の概要

建物配置は、人工芝を施した中庭に面して、1階はウッドデッキ 2階はバルコニーがある普通教室棟から左回りに、渡り廊下棟（1階ピロティの2階建）、管理教室棟（創造的学習や交流を促す全面吹抜けのメディアホールと全ての特別教室を有機的に計画）、武道場・体育館（中庭側に向けて1、2階とも開放廊下）と一巡できる配置としています。

動線の短縮化とともに中庭、メディアホールを中心とする一体的な空間形成を図り、さまざまな交流や学習と創造的な活動に対して、柔軟かつ高度に対応できる建築計画としています。

また、各所にユニバーサルデザインを取り入れ、誰もが使いやすい学校としているほか、雨水利用や底、ルーバー等の採用による省エネルギー対策等、環境への配慮も行っています。

構造体については、耐震性ランクをⅡ類（重要度係数は1.25）としているほか、スパイラル・フープの採用等により耐震性を高めています。



全景（東立面）



メディアホール

静岡市の公共建築について（養護老人ホーム松風荘）

静岡市都市局建築部建築総務課

本事業は、高齢化社会を迎え高齢者が生活の場とし安心して老後を過ごすために、老朽化した養護老人ホームの移転・建替えを行い、平成19年10月新たに開所いたしました。建設地は、羽衣の松、三保の松原で知られる三保半島に位置し、駿河湾や富士山を望める環境に立地しています。

敷地の北側隣接地では同時に公園の整備が進められ公園へ直接アプローチすることを可能とし、入居者の安全性を確保すると共に、敷地内にも連続した緑地帯を設けるなど地域周辺との調和を図っています。

入居される方は、高齢で一人での行動が困難な方も想定されます。そこで人にやさしい施設であることをポイントに、配置計画、動線計画に配慮し、例としてエントランスから食堂・集会場への動線を単純化し、開口部を大きく取るなど、わかりやすく、楽に移動できる動線としています。

居住室を主に日照面に配置することや、中庭を設置することで自然採光、自然通風による快適性を確保し、合わせて太陽熱温水機を設置するなど省エネルギー化を図り、出入口にはハンガー戸を採用するなどバリアフリーな施設としました。

管理面からは、敷地が海岸に近いため使用材料や設備機器には耐塩害を考慮するなど長寿命化を図り、トイレや介護職員室などを中心に居住室を配置することで、管理部門の施設内外での管理運営を容易にしています。

【 工事概要 】

用 途	養護老人ホーム
構 造	鉄筋コンクリート造
階 数	地上2階
敷地面積	3,452.68 m ²
延べ床面積	3,521.79 m ²



浜松地方合同庁舎建設現場で各種イベントを開催

【建築現場でのリサイクルに関する総合学習会】

国土交通省中部地方整備局静岡営繕事務所では、去る平成19年11月15日～21日に、「公共建築の日」に関するイベントの一環として「建築現場でのリサイクルに関する総合学習会」を開催しました。これは、官庁営繕事業（国）による環境負荷低減策として取り組んでいる



静岡新聞 2007年11月16日掲載

る「建設現場でのリサイクル事業」を広く一般の方々に知って頂くため企画したものです。

主旨に賛同して頂いた建設現場周辺の小学校4校の小学生を対象に、総合学習のテーマである「環境について」、目で見、直接手に触れ学ぶ機会として提供させて頂きました。

当日は、2005年に愛知県で開かれた「愛・地球博」のバビリオン建設に使われた「瀬戸日本館の木製外壁」を利用した木製ベンチや、「長久手日本館の間伐材の束ね柱」を使ったモニュメントを浜松地方合同庁舎に設置することなど、実際の見本品やパネル、模型を展示し、静岡営繕事務所職員が直接説明しました。

参加して頂いた児童たちにとって、リサイクルへの関心・理解を深めると共に、事務所職員を含めみんなで「環境」を考える機会が得られ、貴重な体験が出来たと思います。

	実施日	学習時間	参加者	参加人数
1	11月15日（木）	AM10:15～AM11:30	浜松市立元城小学校5年生	28名（他先生1名）
2		PM 1:50～PM 3:00	浜松市立北小学校5年生	34名（他先生2名）
3	11月16日（金）	AM10:25～AM11:15	浜松市立東小学校4年生	48名（他先生3名）
4		PM 1:45～PM 2:30	浜松市立東小学校6年生	52名（他先生2名）
5	11月21日（水）	AM10:30～AM11:20	浜松市立船越小学校5年生	36名（他先生1名）

【平成19年度静岡営繕事務所工事安全連絡会議】

静岡営繕事務所では、建設現場における工事安全対策の強化の一環として、去る平成20年1月8日に、「平成19年度静岡営繕事務所工事安全連絡会議」を開催しました。参加者は、静岡営繕事務所が工事発注している各工事関係者42名の方々と事務所監督職員等を含め総勢五十数名により、浜松地方合同庁舎建設現場にて実施しました。



当日は、机上での会議ではなかなか実感できない「現場安全パトロール」を、所轄労働基準監督署職員の方に実際臨場実施していただき、その場で指摘・講評を受け、安全確認を参加者全員で共有する連絡会議としました。また、局（技術評価課）からも、最近の事故例等具体的に紹介していただき「安全対策の強化」徹底に一役かっいただきました。（静岡営繕事務所 技術課）

第4回 中部の公共建築写真コンテスト 作品募集

～心に残る・親しみのある・好きな建物～

国民生活に密着したよりよい公共建築を目指して、広く地域の皆様に「公共建築」に対する理解と関心を高めて頂くことを目的に、「中部の公共建築写真コンテスト」を実施しています。

今回から「学生部門」を新設いたしましたので、カメラ付き携帯で気軽にご応募下さい。

皆さんの思い出深い、心に残る・親しみがある・好きな「公共建築」を撮影して送って下さい。

募集期間

成19年11月11日～平成20年8月31日

写真の対象

愛知、岐阜、三重、静岡にある公共建築物で、官公庁の建物（行政施設・文化施設等）を幅広い角度、視点からとらえ、建築物の様々な役割や表情を撮った作品を募集します。

応募先・問い合わせ先

〒460-0008 名古屋市中区栄4-2-10 小浅ビル

社団法人 公共建築協会中部事務局

「中部の写真コンテスト」係

TEL 052-243-0789

公共建築協会ホームページ <http://www.pba.or.jp>

携帯応募用アドレス pba-chub06@wish.ocn.ne.jp



編集：中部地方整備局 営繕部 保全指導・監督室内 電話：052-953-8196

★★★ 営繕部ホームページ ★★★

<http://www.cbr.mlit.go.jp>

編集委員 青木 稲垣 古川 表

杉山 加藤 鳥居 林